

みなみかぜ

No. 599 2026.2.1

編集 -黒石・厚南・西宇部人権学習会-
みなみかぜの集い

発行 宇部市隣保館厚南会館

今回は、厚南小学校における「人権教育の取組」の概要を掲載します。

厚南小学校における人権教育の取組について

本校は、学校教育目標として「心豊かで、自ら学び、夢に向かってたくましく生き抜く子どもの育成」を掲げています。人権教育目標として、「人権尊重を基盤にした教育内容の創造」「身近な生活の中にある偏見や差別を見抜き、差別を許さない、差別に負けない心情を養う」「差別を仲間とともに解決していく力の育成」という3つの重点取組目標を掲げ、この目標を達成するために、次のような取組を行ってきました。

(1) 人権教育参観日

12月11日(木)に人権教育参観日を行いました。学年によってテーマは様々でしたが、子どもたちは、まわりの人との関わり方や命の大切さについて真剣に考えていました。

2年生では、「となりのためき」という題材で、お互いにやさしい言動をとり、友だちとよさを認め合い、分かり合うことについて考えました。

子どもの振り返りでは、人に優しくすると優しさが返ってくることや、友だちや家族に優しくするなどの前向きな振り返りがみられました。



4年生では、「わたしのせいじゃない」という題材で、友だちを傷つけない公正・公平な態度について考えることができました。子どもたちは、傍観者ではなく自ら行動することが大切だということに気付きました。

(2) 人権教育講演会

授業参観後に人権教育講演会を行いました。講師として、阿波ひろみ先生を招き、『いのちが喜ぶとき～あなたがいるだけで～』という演題で講演をしていただきました。4・5・6年生と保護者、地域の方、教職員が参加しました。子どもたちは、阿波先生の温かい雰囲気の中で、友だちや先生、家族の良いところを見つける「ス

テキめがね」でお互いに認め合い、大切にされていることを実感することができました。プラスの言葉は、子どもたちのエネルギーに変わり、蓄えていくことで将来困難なことに立ち向かう力となることから、たくさんのプラスの言葉を子どもたちにかけるのが大人の役目だと教職員で振り返りをしました。

(3) 教職員の研修

夏季休業中には、「学校における人権教育の推進」について教職員研修を行いました。今後の人権教育の推進について、より理解を深めることができました。また、多くの教職員が宇部市小・中学校人権教育研究集会に参加しました。講師は、アイヌ民族文化財団アドバイザー 藤戸ひろ子様で、演題は『アイヌ民族の文化、歴史、願い』でした。アイヌ民族の方々の話を直接聞き、思いや願いを受け止める機会になりました。

今後、保護者や地域の皆様と共に、人権教育目標の実現に向けて、学校全体で取り組んでいきます。

〔宇部市立厚南小学校 人権教育担当 岡部 里佳〕

～ お知らせ ～

【各地区人権教育推進大会（研修会）開催】〈申込要、無料〉

主催 各地区人権教育推進委員協議会

※詳細及び申込につきましては、各ふれあいセンター・隣保館へお問い合わせください。

〔黒石地区〕

2月1日(日) 9:45～12:00 黒石ふれあいセンター(TEL/FAX:44-0881)

内容 ・アトラクション(東割保育園児)

・小中学生人権作文発表

・講演 演題 『子どもも大人も共に育ちあう地域づくり』

講師 NPO 法人おーるうえいず 代表理事 松本 鉄己

〔西宇部地区〕

2月11日(水・祝) 9:30～11:45 西宇部ふれあいセンター(TEL/FAX:44-0878)

内容 ・アトラクション(コーラス〈グリーンエコーズ〉、遊戯〈二葉保育園児〉)

・人権啓発ビデオ視聴(「母のさがしもの ～認知症とともに生きる～」)

・『小・中学生からのメッセージ』 ～人権に関する作文朗読～

・学校人権教育の取組発表

・スローガン朗読

〔厚南地区〕

2月15日(日)10:00～12:00 隣保館厚南会館(TEL:41-8155 FAX:41-8308)

内容 ・小中学生人権作文発表

・講演 演題 『笑顔の君が好き ～「わたし」発達障害の世界～』

講師 相談事業所プラスワンコンサル小野田店 管理者 石光 愛

・スローガン朗読